にほんご友の会だより

No287　2023年 12 月

師　走

藤澤　春恵

12月のことを師走という。最近はあまり聞かない言葉になってきた。昔は師が走るというのは、師＝先生で、先生が走るのかと思っていた。調べてみると、お寺のお坊さんの師匠は 12月になるとあちらこちらの家を廻って忙しい、というもの。忙しいというのはよくわかります。昔は商人が売掛金物を売った代金の回収のためにおおみそか(12月31日のこと)まで街中を走り回るさまが、師走のイメージとなっている。

師走というと、私にとっては、忘年会、大掃除、賀状書きというようなことが頭に浮かぶ。忙しくて、気忙しい月。これはおとなになってからのこと。子どものころの 12月はクリスマスがあって、クリスマスプレゼントがあり学校は冬休みになる。と楽しい事ばかりで幸せな時代でした。学生時代は大晦日に友達と荻窪で待ち合わせて、歩いて明治神宮にお詣りに行ったり、高尾山に登って初日の出を見たりと何かしら企画していた。

忙しい師走が明けると、静かなお正月です。この時のあいさつが「明けましておめでとうございます」で、家族でおせち料理を食べます。時の流れの中で 1年をリセットできるというのは、すばらしいことです。学習者の皆様の国では、どんな 12月を過ごすのでしょうか？

1年間ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

（1月は髙橋さんです）

12月の学習予定日	2 日	9 日	16日	16日は忘年会。23日,30日は休み
2024年1月の学習予定日	13日	20日	27日	正月か 6 日は休み

—たより TOP—